

2004 ROAD RACE RULES

付 **5** 則

全日本ロードレース選手権 大会特別規則

1 公 示

全日本ロードレース選手権はFIM国際スポーツ憲章に基づいたMFJ国内競技規則と全日本選手権シリーズを通じて、共通した項目をまとめた本大会特別規則と各大会の特別規則に基づきFIM・MFJ公認の国際格式競技会として開催される。

2 開催種目と競技会の日程

- 2-1 開催種目は下記とする。
- ST600
 - GP125
 - GP250
 - JSB1000
- 2-2 レースウィークの日程
- 2-2-1 全日本選手権は下記日程で開催される。
- 月～木曜日：当該大会にエントリーしている選手は走行してはならない。これに違反した場合罰則が適用される。
- 金曜日：練習走行 **ART走行**
- 土曜日：公式予選 全クラス 最低20分以上×2回
- 日曜日：午前 ウォーミングアップラン 各クラス10分
9：00～ 決勝レース
- 2-2-2 競技会の日程は巻末（91頁参照）に示す。

3 参加定員

- 3-1 全クラス最大予選組2組までのフリーエントリーとする。
- 3-2 最大予選組を超えるエントリーのある場合、主催者が決定する。

4 追加のクラス

併催種目の設定に際しては、パドック並びに全日本の予選、決勝に影響しないことを条件とする。

5 コースと最多出場台数

- 5-1 コースはMFJが国際公認もしくは準国際公認したコースとする。

5-2 各施設ごとの同時出走最多台数は以下のとおり。

施設	決勝	予選*
SUGO	40	48
筑波	36	43
もてぎ	40	48
鈴鹿	44	52
TI	40	48
オートポリス	40	48

※ 予選台数については、エントリー状況により、変更することが認められ、変更する場合特別規則に明記する。

6 大会審査委員会

- 6-1 大会審査委員長はMFJロードレース委員会の委員、もしくは主催者が指名する1級競技役員でMFJが任命する。
- 6-2 任命された審査委員長が定時までには会場に到着しない場合は、次席のものがこれにあたる。
- 6-3 審査委員長は必要に応じてエントラントの代表者を指名し、同席させることができる。

7 参加資格

2004年度ロードレース国際ライセンス所持者

8 出場料およびMFJ共済会掛金

出場料：1クラス 16,000円
MFJ共済会掛金 1人 3,500円
合計：19,500円

9 ピット要員

- 9-1 1ライダーに対して6名のピットクルーが認められる（同チームの2人目以降は制限あり）。いずれもピットクルーライセンスが必要であり、当日の変更は可能であるが追加は認められない。
- 9-2 ピットエリアではライダー1名について3人のピットクルーが作業できる。

10 レース当日の練習走行

- 10-1 レース当日の朝、各クラスごとに最低10分間の練習走行が行われる。
- 10-2 天候等やむを得ない理由で短縮または中止される場合がある。

11 ゼッケンナンバー

- 11-1 前年度全日本選手権の有得点者で、当該クラスのランキング順位に従って年間指定ゼッケンナンバーが与えられる。
- 11-2 その他の年間出場ライダーにはARTから年間ゼッケンナンバーが指定される。
- 11-3 ランキング順位に従って定められたゼッケンナンバーを変更する場合はMFJ中央スポーツ委員会にて許可が必要であり、別途定める料金を必要とする。
- 11-4 全日本選手権ゼッケン（ナンバープレート）規定
 - 11-4-1 モーターサイクルのフロントと両サイドにナンバーが装着され、観客と競技役員が明確に識別できるようにしなくてはならない。
 - 11-4-2 文字およびバックグラウンドは、図Aに記載されているサイズに適合していなくてはな

らない。

- 11-4-3 GPクラスの文字の色は黒か白とし、バックグラウンドの色は自由とするが、文字が判別しやすいようにされなくてはならない。

JSB1000クラスは、黄色地に黒文字とする。

ST600クラスは、白地に黒文字とする。

- 11-4-4 バックグラウンドは最低限、下記の面積が単色でなければならない。蛍光色は禁止される。

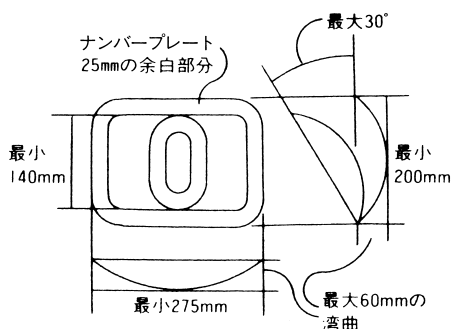
・幅=275mm ・高さ=200mm

- 11-4-5 文字の周囲には最低25mm幅の余白が残されていなくてはならない。

- 11-4-6 ナンバーの明瞭度に関して議論が持ち上がった場合、当該車検長の決定を最終のものとする。判別しにくいと判断された場合はすみやかに修正しなければならない。

- 11-4-7 付則3. ロードレース競技細則 第8項を参照すること。

(基準の書体)



Futura Heavy

0123456789

Futura Heavy Italic

0123456789

Oliver Med.

0123456789

Oliver Med. Italic

0123456789

12 車両の変更

- 12-1 公式予選ではライダーは複数の車両を使用してもよいが、これはそのライダーの名前でスペアマシンとして登録され、車検に合格していることを条件とする。
- 12-2 公式車検終了後選手中間のマシンの交換はできない。
- 12-3 何らかの理由で、レースが停止されることになった場合、レースの再スタート前にマシンを交換する事が出来るが、そのライダーの名前でスペアマシンとして登録され車検に合格していることを条件とする。

13 ピットロードのスピード制限

大会期間中を通じてピットロードのスピード制限は60km/hとする。

違反した場合は罰則が課せられる。

決勝レース時（サイティングラップ開始以降）における違反への罰則は、違反1回に対してストップ&ゴーペナルティー1回とする。

14 タイムキーピングシステム

主催者の定める大会特別規則にて自動計測装置の取り付けを義務づけられた場合、これに従わなければならない。

15 スタートイングリッド

スタートイングリッドの数、配置は各大会の特別規則に示される。

16 レース距離

- 16-1 各クラスの決勝レースの距離を下記のように定める。
- | | |
|---------|------------|
| ST600 | 60km～130km |
| GP125 | 60km～130km |
| GP250 | 60km～130km |
| JSB1000 | 60km～130km |
- 16-2 天候等やむを得ない理由によって上記の距離から短縮される場合がある。

17 賞および得点

- 17-1 賞の詳細については公式通知に示される。
- 17-2 得点は国内競技規則・第3章〔㊸公式得点〕(40頁)に従い出走台数に応じて与えられる。
- 17-3 ST600クラスは全6戦中4戦の有効ポイント制とする。
- 17-4 MFJのスポーツ国籍以外の選手については賞典は与えられるが、全日本選手権の得点は与えられない。(但し下位は繰上げない)
- 17-5 全日本選手権のランキングは得点の総合計によって決定される。その他の詳細は全日本選手権ランキング決定基準(49頁)に示される。
- 17-6 チームランキングポイントは、年間登録チームのみが対象とされ、そのチームが起用するライダーの中の一番よいポイントだけを抽出し、積算する。
- 17-6-1 トップエントラント
各クラス2003年チームランキング15位まで(繰り下げはない)。
- 17-7 2004年度文部科学大臣杯は、JSB1000優勝者に授与する。

18 主催者の権限

- 18-1 参加申し込みに際して、その理由を示すことなく、参加者、ライダー、ピットクルーを選択あるいは参加を拒否することができる。
- 18-2 競技監督が必要と認めた場合、ライダーに対し、指定医師による健康診断書の提出を要求し、競技出場の健康上の理由による可否を最終的に決定することができる。
- 18-3 ゼッケンナンバー、ピット・ガレージの割り当て等にあたり、各参加者の優先順位を決定することができる。ただし、エントリー台数によっては、ピットガレージの割り当てができない場合もある。
- 18-4 やむを得ない理由により、公式プログラムの印刷に間に合わなかったライダーの氏名登録または変更について許可することができる。
- 18-5 すべての参加者、ライダー、ピットクルーおよびその参加車両の音声、写真、映像など報道、放送、放映、出版、ビデオ等に関する権利を有し、この権限を第3者が使用することを許可できる。
- 18-6 最低基準タイムは110%とし、大会主催者は特別規則書に記載して110%の範囲内でその基準タイムを変更することができる。
- 18-7 年間登録チームに所属するライダーは主催者・プロモーション委員会の行う広報活動に協力する義務を負う。(詳細は登録申請用紙に記す)

19 ペナルティの通告

何らかの事情によりペナルティが課せられる場合、そのペナルティ内容により当該ライダーのみでなく、当該ライダーの所属するチーム代表者にも通告される。その場合、チーム代表者は同席しなければならない。

20 タイヤ規制

ST600、JSB1000クラスにおける使用タイヤには、以下の規制があるため、それぞれの技術仕様には注意すること。

20-1 ST600

タイヤはMFJが指定したタイヤのみ使用することが出来る。

20-1-1 タイヤの使用本数制限が設けられ、予選・ウォーミングアップラン・決勝を通じ2セットのみ使用することが認められ、定められた時間にマーキングされる。

20-1-2 ウェット時のタイヤ使用本数制限は行わない。但し雨天時においてドライタイヤを使用する場合、マーキングされたタイヤのみ使用可能とする。

20-1-3 サンプルタイヤ制度

1位～3位入賞のタイヤを切断検査し、入賞者にはタイヤマニュファクチャラーより新品タイヤを提供する。また、レインタイヤにおいても入賞車両のタイヤ検査対象とする。

20-2 JSB1000

20-2-1 タイヤの使用本数が設けられ、予選・ウォーミングアップラン・決勝を通じ3セットのみ使用することが認められ、定められた時間にマーキングされる。

20-2-2 ウェット時のタイヤ使用本数制限は行わない。但し、雨天時において、ドライタイヤを使用する場合、マーキングされたタイヤのみ使用可能とする。

注：ドライタイヤの定義

JSB1000：スリックタイヤ及びカットスリック

ST600：指定タイヤ

レインタイヤの定義

JBS1000：スーパーレイン及びインターミディエイト

ST600：指定ウェットタイヤ

21 スタート練習

プラクティスまたは、ウォームアップ中は、安全が確認されることを条件にピットレーン出口からコースに入るまでの部分で行うことが出来る。または当該セクションのチェッカーフラッグ提示後に、安全が確認されること、レーシングラインを外して行うことを条件に行うことができる。

ただし、各大会の特別規則または公式通知によってスタート練習の時間、場所、方法が示された場合には、それに従わなければならない。

22 本規則の施行

本規則は、各競技会の参加申し込み受付日より有効となる。なお本規則に示されていない事項は主催者の発行する大会特別規則、および国内競技規則による。

本規則は2004年1月1日より適用する。

2004年MFJ全日本ロードレース選手権シリーズカレンダー

開催月日	大会名/会場	出場申込先	出場申込期間
3月27日(土) 3月28日(日)	MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第1戦 鈴鹿2&4レース 会場：鈴鹿サーキット ☎0593-78-1111	(株)鈴鹿サーキットランドSMSC事務局 〒510-0295 ☎0593-78-3405	2月17日(火) 2月26日(木)
4月24日(土) 4月25日(日)	MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第2戦 オートポリス大会 会場：オートポリスサーキット ☎0973-55-1111	オートポリスサーキット 〒877-0132 大分県日田郡上津江村大字上野田1110-12 ☎0973-55-1111	3月16日(火) 3月25日(木)
5月15日(土) 5月16日(日)	MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第3戦 筑波大会 会場：筑波サーキット ☎0296-44-3146	(財)日本オートスポーツセンター 〒104-0041 東京都中央区新富1-9-6 新富一丁目ビル6F ☎03-3555-6051	4月6日(火) 4月15日(木)
6月12日(土) 6月13日(日)	MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第4戦 もてぎ大会 会場：ツインリンクもてぎ ☎0285-64-0001	ツインリンクもてぎ全日本ロードレース事務局 〒321-3597 栃木県芳賀郡茂木町大字松山120-1 ☎0285-64-0200	5月4日(火) 5月13日(木)
9月4日(土) 9月5日(日)	MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第5戦 SUGO大会 会場：スポーツランドSUGO ☎0224-83-3127	SUGOスポーツクラブRR係 〒989-1394 ☎0224-83-3127	7月27日(火) 8月5日(木)
9月25日(土) 9月26日(日)	MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第6戦 鈴鹿大会 会場：鈴鹿サーキット ☎0593-78-1111	(株)鈴鹿サーキットランドSMSC事務局 〒510-0295 ☎0593-78-3405	8月17日(火) 8月26日(木)
10月16日(土) 10月17日(日)	MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第7戦 TI大会 会場：TIサーキット英田 ☎0868-74-3311	TIサーキット(株)全日本RR事務局 〒701-2612 岡山県英田郡英田町滝宮1210 ☎0868-74-3311	9月8日(水) 9月17日(金)

※開催クラスは、第1戦はJSB1000のみ。その他はJSB1000、GP250、GP125、ST600クラス

※各大会とも2日制：土曜日=公式予選、日曜日=決勝レース

※各大会ともFIM公認国際格式レース

2004年ロードレース主要競技会カレンダー

開催日	大会名/会場	開催クラス	出場申込先
5月29日(土) 5月30日(日)	SUZUKA200km 会場：鈴鹿サーキット ☎0593-78-1111	SB/SP/ST JSB1000 XX-Formula	(株)鈴鹿サーキットランドSMSC事務局 〒510-0295 ☎0593-78-3405
7月23日(金) 7月25日(日)	FIM世界耐久選手権シリーズ “コカ・コーラ”鈴鹿8時間耐久ロードレース 会場：鈴鹿サーキット ☎0593-78-1111	SB/SP/ST JSB1000 XX-Formula	(株)鈴鹿サーキットランドSMSC事務局 〒510-0295 ☎0593-78-3405
8月22日(日)	2004サマー・エンデュランス・カーニバル もてぎオープン7時間耐久 会場：ツインリンクもてぎ ☎0285-64-0001	オープン	ツインリンクもてぎもてぎ耐事務局 〒321-3597 栃木県芳賀郡茂木町大字松山120-1 ☎0285-64-0200
9月17日(金) 9月19日(日)	FIMロードレース世界選手権シリーズ第12戦 日本グランプリもてぎ 会場：ツインリンクもてぎ ☎0285-64-0001	MotoGP GP250 GP125	問合せ ツインリンクもてぎレース事務局 〒321-3597 栃木県芳賀郡茂木町大字松山120-1 ☎0285-64-0200

※鈴鹿サーキットとスポーツランドSUGOへの郵便物は、郵便番号と宛名のみで届きます。